

まちづくり交付金 事後評価シート(原案)
中地区

平成19年10月

兵庫県多可町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	多可町	地区名	中
計画期間	平成16年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成19年度		
モニタリング実施時期		事後評価実施時期	平成19年5月～平成20年3月	フォローアップ実施時期	平成20年8月～9月

1)事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	町道県民余暇村公園線,町道奥中7号線,町道奥中1号線,町道役場公民館線,町道丘山渡瀬橋線,町道奥中団地
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	町道東山3号線,町道多可高校線,町道鍛冶屋7号線,町道中村町7号線
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	町道中村町7号線他3路線の事業廃止に伴い歩行空間整備率及び歩行移動時間を下方修正した。

2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因
	指標1	指標2		モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見
	歩行空間整備率		%	●	○	■			歩行者の安全確保がはかられ主要施設を結ぶネットワークの形成ができた。また、散策コースとしての機能を併せ持ち住民相互の交流に寄与している。
	歩行移動時間		分	●	○	■			歩行者の安全確保がはかられ主要施設を結ぶネットワークの形成ができた。また、散策コースとしての機能を併せ持ち住民相互の交流に寄与している。
	建替町営住宅入居者平均年齢		歳	●	○	■			入居者の平均年齢が若返り、団地内の新たな交流が深まり、地域が活性化した
	来訪者数		人/年	●	×	■		●	県民余暇村公園の陳腐化により事業効果が発揮出来なかった。

3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値			効果発現要因
	その他の数値指標1	その他の数値指標		基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見	
	那珂ふれあい館来訪者数		人/年	1.4万	16	●	1.6万	■	埋蔵文化財の保存・展示といった歴史資料館としての機能とともに学習機能なども兼ね備えた施設であり、多可町の交流拠点となっている。多可町の歴史を学ぶことにより地域に関心を持ち、強いては地域コミュニティの形成にも繋がった。

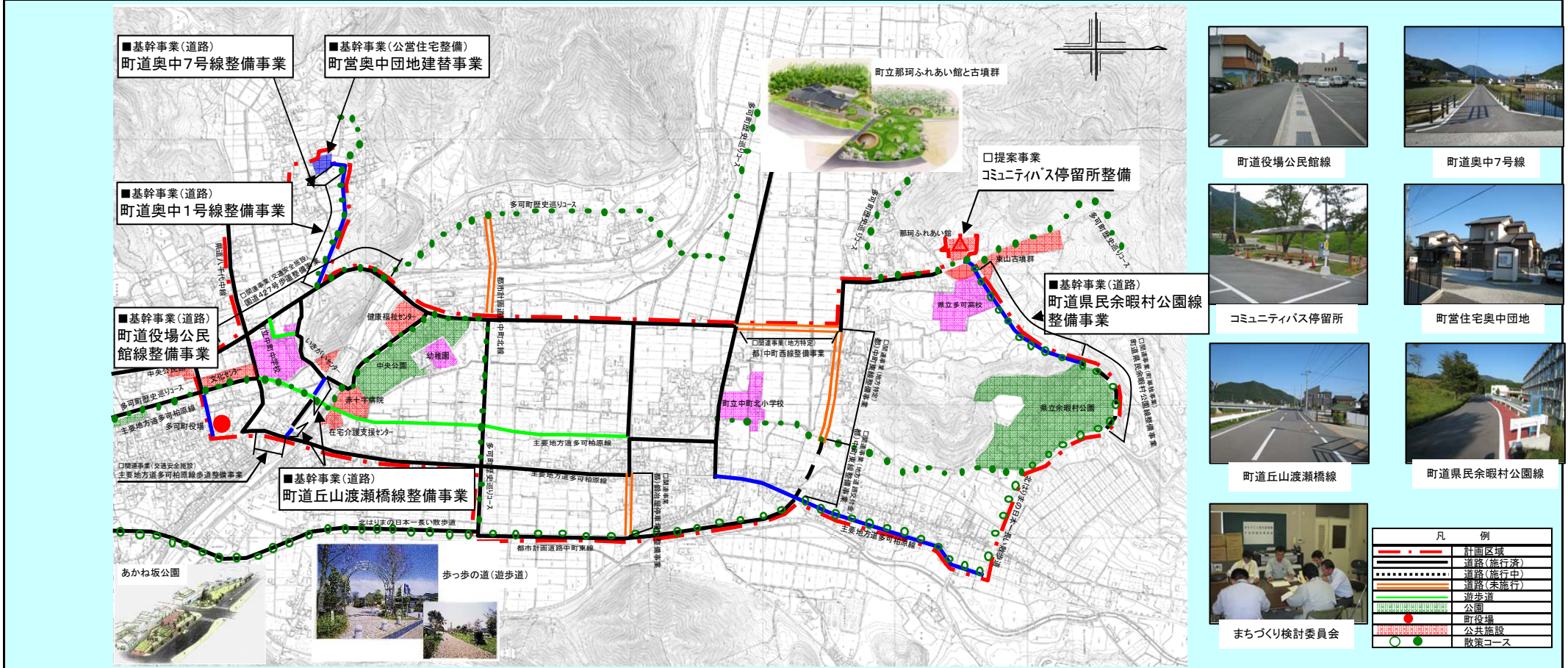
4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況									
------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況				今後の対応方針等
	モニタリング		●	○	■		
	住民参加プロセス	むらづくり協議会の実施 地域協議会の実施	●	○	■		今後も地域主体の取り組みを継続していきたい。
	持続的なまちづくり	むらづくり協議会の継続 地域協議会の継続	●	○	■		今後も有効的に活用、運用していきたい。

様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

中地区(兵庫県多可町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	歴史街道をつなぐ、都市・田園・歴史・自然のまちづくり	まちづくり交付金の代表的成果	歩行空間整備率(単位:%)	64.2(H16年度)→90.3(H20年度)
			歩行移動時間(単位:分)	17(H16年度)→14(H20年度)
			建替町営住宅入居者平均年齢(単位:歳)	50.1(H16年度)→45(H20年度)



今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>安全で快適な歩行者道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 休憩できるベンチ、木陰などを整備し更なる利用促進をはかる 地域が主体となった防災訓練の実施 地域コミュニティの更なる形成 地域の担い手の育成 生涯学習活動 体験型学習等による生涯学習活動の促進 	<p>交通安全への意識啓発防災意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難路の確認
		<p>地域活動への積極的な参加</p>